

HIV 感染症薬物療法認定薬剤師養成研修コアカリキュラム

1. 到達目標

研修者は、本研修により、以下の HIV 感染症専門薬剤師の職務に必要とされる高度な知識、技能、臨床経験を修得することを目標とする。

- ① HIV 感染症医療における薬剤師の役割を理解し、医師、看護師、その他の医療従事者と良好なコミュニケーションを図り、医療チームでの役割を果たすこと。
- ② 患者にとって最適な HIV 感染症治療を提供するため、個々の患者の状態を適切に把握するとともに、抗 HIV 療法や日和見感染症治療薬の選択や相互作用情報等をチームに対し情報を提供し、その結果の評価を行うこと。
- ③ 臨床試験を含め、HIV 感染症治療に関する最新の薬物療法や HIV 感染症に関わる医療制度や法規制、社会問題について、国内外を問わず絶えず情報収集を行い、内容を理解した上で正確な情報の評価と、医療チーム及び患者への情報提供を行うこと。
- ④ HIV 感染症患者および医療スタッフからの薬物療法に関する相談に適切に対応できること。
- ⑤ HIV 感染症患者との良好なコミュニケーションを通して、患者の求めているものを理解できること。
- ⑥ 研修医、薬学生や医療従事者等を対象とする教育・研修活動を行うこと。
- ⑦ HIV 感染症や抗 HIV 療法に関する論文を評価するとともに、科学研究を立案、実施し、成果を公表すること。

2. HIV 感染症専門薬剤師に必要な知識

(1) HIV 感染症の臨床に関する一般的知識

研修者は、下記項目に必要な知識を修得しなければならない。

- ① 最新の HIV 感染症治療に関する知識
最新の治療ガイドラインを理解し、治療法全般について説明できる。
- ② 日和見感染症治療に関する知識
HIV 感染症に関わる日和見感染症の病態並びに治療について説明できる。
- ③ 性感染症治療に関する知識
性感染症に関わる病態並びに治療について説明できる。
- ④ 長期療養・合併症に関する知識
HIV 感染症に関わる長期療養・合併症の病態並びに治療について説明できる。

⑤ 他科疾患に関する知識

HIV 感染症に関わる他科疾患の病態並びに治療について説明できる。

⑥ 免疫再構築症候群等のエイズ関連病変に関する病態並びに治療について説明できる。

⑦ 血友病の病態並びに治療について説明できる。

(2) HIV 感染症の薬物療法に関する知識

研修者は、HIV 感染症治療について、下記項目に必要な知識を修得しなければならない。

① 抗 HIV 薬に関する作用のメカニズム、副作用、用法、用量、相互作用などの臨床薬理について説明できること。

② 日和見感染症、性感染症治療に関する作用のメカニズム、副作用、用法、用量、相互作用などの臨床薬理について説明できること。

③ 臨床試験、治験について説明できること。

(3) HIV 感染症を取り巻く社会制度等に関する知識

HIV 感染症に関わる疫学や医療制度、医療体制、院外処方箋発行に関連する問題、法規制、社会問題、薬害エイズ、薬物乱用について、国内外を問わず情報を理解した上で評価を行い説明できる。

(4) 臨床研究に関する知識

国内外を問わず、実施される臨床試験等について、内容を理解した上で評価し説明できる。

3. HIV 感染症専門薬剤師に必要な技術

研修者は、HIV 感染症患者やチームスタッフに対して適切な情報を提供するために、下記の技術を習得しなければならない。

① 国内外を問わず HIV 感染症治療における薬物療法に関する情報収集と評価

② 患者、チームスタッフとのコミュニケーション能力とコミュニケーションスキルの指導方法

*本コアカリキュラムは、適宜見直しを行うものとする。

制定 平成 21 年 4 月

改定 平成 30 年 2 月 1 日